



志を未来に活かし輝き続けるまち

— 長岡市 —

長岡市はこんなところ

日本一の大河・信濃川が市内中央を雄大に流れ、海と山に囲まれた自然豊かな場所。交通網が整備され、多種多様の産業が集積します。東京から新幹線で約1時間30分の好アクセスです。

長岡花火は慰霊と平和のシンボル

昭和20年8月1日午後10時30分から1時間40分もの間にわたった長岡空襲。市街地の8割が焼け野原と化し、1,488人の尊い命が失われました。

毎年8月2日・3日の長岡まつり大花火大会で打ち上げる長岡花火には、長岡空襲で亡くなった人への慰霊、復興に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いが込められています。



復興祈願花火「フェニックス」

ウイルス禍でつなぐ平和への想い



暮らしと産業を軸に

「発酵・醸造のまち」を次世代に

江戸時代から続く、酒、みそ、しょうゆの醸造所が集まる摂田屋地区。国の登録有形文化財の蔵や建物群が、明治・大正期の風情ある街並みを今に伝えていきます。雪国で培われた食文化の中で人々の暮らしに根付いてきた発酵。現在は大学・高専、研究機関などが連携しながら、発酵を活用した産業の創出を目指しています。食や体験で発酵の魅力を伝えるイベントの開催などで発酵・醸造文化を次世代へつなぎます。



摂田屋地区の饗絵蔵



醤油づくり体験

バイオコミュニティ

地域資源を有効活用しながら、市民の健康な生活や地域経済の活性化を目指す循環型社会「バイオコミュニティ」の形成を進めています。全国に先駆けて平成25年に稼働した「生ごみバイオガス発電センター」では、国のプロジェクトとして生ごみ処理で発生した廃水を効率的に浄化する実証実験を行っています。



米百俵のまち・長岡ならではの熱中！感動！夢づくり教育

「米百俵」の精神が息づくまち長岡では、夢を描き志を立てて生き抜く子どもを育てるため「熱中！感動！夢づくり教育」に取り組んでいます。全国的にも珍しい「ロボホン」を活用したプログラミング教育をはじめ、企業や関係団体などの市民の力を活かし、多彩な連続講座を展開する「米百俵未来塾」の開催など、子どもたちの個性・可能性を伸ばす取り組みを進めています。



世代を超えた交流 日本初！長岡発！の「子育ての駅」

市内の13カ所にある子育ての駅は、子育て世代や祖父母、若者が集まる交流の場。保育士や子育てコンシェルジュが相談対応や情報提供をしています。「産後デイケアる〜む『ままりラ』」は、助産師などの専門職が妊産婦の相談に個別に応じます。



地方への人の流れの創出 移住定住相談センターを開設

少子高齢化による人口減少が急速に進展している中、コロナ禍による地方分散への流れが加速しており、地方移住への関心が高まっています。令和3年4月に、サテライトオフィスの誘致や起業・創業支援、田舎暮らしなど、地方への人の流れを創出する、移住定住相談センターを新たに設置しました。

